

## 質問:平成29 年度中小企業人材確保支援事業

「(1) 事業実施場所・運営体制」について	
企画提案書の書式について、「別途提案書の様式を定めてもかまいません。」との記載がありましたが、特に指定はございませんでしょうか？(縦・横、ページ数、文字サイズの規定など)	書式、文字サイズについては、特に指定はありません。ただし、企画提案書のページ数については、企画提案公募要領の6ページに記載のあるとおり、表紙を除いて15ページ以内としてください。
実施運営体制内の①～③のスタッフを本業務以外の業務へ従事させることは可能でしょうか？	本事業以外への業務に従事する事は可能です。ただし、作業員届出書に基づく、事業従事者は、必ず業務日報を作成し、本業務の従事時間と、それ以外の業務の従事時間を明確に区別すること。
OSF 拠点設置において、「OSF 内に①～③が必ずしも常駐する必要はない」との記載がありましたが、どの程度の頻度(週〇日程度など)で、拠点にいる必要がありますか？	本業務を実施するにあたり、UIJターン就職希望者や府内企業に対する支援に支障がないようご提案ください。

「(3) 府内中堅・中小企業の魅力発信」について	
Web サイトの完成イメージの提案に際して、現行のサイト仕様についてお尋ねします。既に取得し運用している魅力発信Web サイトのサイトマップやサーバー利用料などのシステム運用にかかる費用をお示ください。	サイトマップについては、別紙1をご確認ください。H28年度事業におけるサーバ利用料は約3万円です。
Web サイトによる効果的なプロモーションは、どのような効果を期待されていますか？閲覧ユーザー数の拡大やUIJ ターン就職希望者の掘り起こし数など、過去実施事業と比べた際に期待されている効果(数字など)があればお示ください。	H28年度事業で構築した魅力発信WEBサイト( <a href="http://www.kigyo-miryoku.pref.osaka.lg.jp">http://www.kigyo-miryoku.pref.osaka.lg.jp</a> )は、府内の企業情報や求人情報、就活に関するイベント情報などを発信している。本事業のメインサイトであることから、UIJターン事業の認知度向上や誘導やイベント集客などの効果を期待している。過去事業との比較については、特に示すべき数値はありませんが、求職者にとって、就職活動に有益な情報が発信されるサイトになるよう、提案頂きたい。
既に運用しているWeb サイトの運営開始から現在までの、ページビュー数、閲覧ユーザー数、平均滞在時間、直帰率、離脱率、サイトへの流入経路、流入キーワード、Web サイトを通じたUIJ ターン就職希望者の掘り起こし数、企業へのエントリー数、就職決定数などのデータをお示いただくことは可能でしょうか？	魅力発信WEBサイトは、H29年2月1日に正式公開をおこなっており、現在までのログは、セッション(4,472)、ユーザー(2,773)、ページビュー数(24,560)、ページ/セッション(5.49)、平均セッション時間(00:05:11)、直帰率(58.68%)、新規セッション率(61.99%)となっている。 流入経路については、7割以上がダイレクトとなっており、チラシや冊子のQRコードからと分析している。 流入キーワードについては、9割以上が「not provided」となっている。 なお、その他の数値については、運用間もないため、提供することはできません。
Web サイトの製作スケジュールの算出に際して、構築したシステムの引き継ぎ作業に、どの程度の期間を要すると想定されていますか？	魅力発信WEBサイトは、H28年度事業で基本的な構築は完了している。H29年度事業では、企業情報や求人情報のメンテナンス、継続的なイベント情報の掲載が主たる業務になると考えている。引継ぎについては、Movable Typeなどのアカウント譲渡、運用指導も含めて、数日と考えている。
魅力発信Web サイトは、既に取得し運用しているサイトを必ず継続して利用しなければならないでしょうか？継続利用しなければならない場合、その理由をお示ください。	独自ドメインを取得してWEBサイトを運用する場合、事業終了とともに、サイトが閉鎖される恐れがある。このためH28年度事業で構築した魅力発信WEBサイトは、大阪府のサブドメインを取得し運用をはじめた。大阪府としては、このサイトを継続的に利用、運用していく方針であることから、H29年度受託事業者も継続して利用すること。仮に、新たな魅力発信WEBサイトを構築する場合のURLは、このサブドメインを活用すること。なお、新規WEBサイトの作成に関する費用については、事業費として認めることができない。
既にUIJ ターン就職希望者に対して訴求力をもつWeb サイト(新Web サイト)を活用するなど、既に取得し運用しているサイト(既存Web サイト)を上回る効率的・効果的な提案であれば、新Web サイトをメインサイトとし、同サイト内にバナーを設け既存Web サイトへも誘導を図ることで継続利用とみなすことは可能ですか？	大阪府では、H28年度構築の魅力発信WEBサイトを事業のメインサイトとして位置づけている。前述の通り、新規WEBサイトの構築については、事業費として認めることができないが、仮に構築した場合は、同じサブドメインを利用すること。なお、大阪府事業で作成したUIJターン就職希望者に対して訴求力をもつサイトについては、メインサイトへの誘導目的に運用する場合に限り、ドメイン費用・サーバー費用のみ事業費として認めることができる。
魅力発信Web サイトの情報掲載料に関して、より詳しく企業の魅力を発信するために500 社中何社かの企業に関しては追加情報を掲載する場合、サイトへの掲載料に価格差(基本掲載料2 万円・インタビュー記事追加費用5 万円など)を設けることはできますか？	情報掲載料については、WEBサイト最低2万円、WEBサイト+冊子掲載を最低3万円を基本とし、提案すること。ただし、企業から得た費用については、魅力発信WEBサイト、情報誌の取材、発行、運用等に活用し、自社利益としてはならない。

<p>魅力発信情報誌の提案に際して、過去同様の制作物における実績についてお尋ねします。同冊子の配架大学数や購読部数、閲覧数、魅力発信情報誌を通じたUIJ ターン就職希望者の登録者数、冊子により企業を認知し就職に至ったなど、魅力発信情報誌によって得られた効果があればお示してください。</p>	<p>H27年度事業で作成した「関西優良企業就活ガイド2017」は、2,000部印刷し、関西・関東圏の大学やハローワーク、掲載企業など約1500ヶ所への送付、UIJターン関連イベントでの配布などを行い、掲載企業へは12名が就職している。H28年度事業で作成した「大阪優良企業就活ガイド2018ダイジェスト版」は、3,000部印刷し、東京圏の大学やハローワークなど約250ヶ所への送付、UIJターンイベントでの配布などを行っている。その他詳細については、現在、把握しておりません。</p>
<p>魅力発信情報誌に関しては、その印刷製本費も事業費で計上する必要がありますか？</p>	<p>情報誌の製本印刷費については、企業からの掲載料でまかなうこと。</p>

<p>「(4) UIJ ターン就職希望者へのフォローや掘り起こし・登録」について</p>	
<p>これまでの事業で取得した約6,500 件の個人情報について、その属性(年齢、性別、出身地、登録流入経路)などの情報をお示しいただくことは可能でしょうか？</p>	<p>複数の事業で情報を取得しており、取得元によって属性情報は異なります。個人情報の提供同意が得られた分のみ、H29年度事業者提供いたします。</p>
<p>掘り起こし人数などの月次目標の算出に際して、過去の実績をお示しいただくことは可能でしょうか？例えば、何名のUIJ ターン就職希望者の新規登録で、何名の就職決定が発生しているかなど、その割合についてお示してください。</p>	<p>H29年度事業における2月度の新規登録者数661名、就職決定者数は、38名となっている。新規登録者数や決定人数などの月次目標の設定は、事業内容よってことなり、また事業者のノウハウに関する部分であることから、提供することはできない。</p>
<p>UIJ ターン就職支援協定の締結を検討とあり、UIJ ターン就職相談会などに参加することとありますが、就職相談窓口担当者との仲介や就職相談会の案内などは実施いただけるもののでしょうか。あるいは、新規で開拓を実施する必要がありますか？</p>	<p>協定締結校の担当者情報やイベント情報については、別途、大阪府からお伝えします。また、未締結校との調整については、大阪府と連携して行う。</p>

<p>「(6)事業目標の達成数」について</p>	
<p>②魅力発信Web サイトへの掲載企業数500 社以上、③魅力発信情報誌(ダイジェスト版)に掲載する企業数50 社以上とありますが、②と③での重複掲載した場合、それぞれで「1 社」とカウントされますか？</p>	<p>②と③の企業は、それぞれ1社としてカウントしてもよい。</p>